

平成13年3月30日
国土交通省

国土交通省の公共工事における技術活用の促進について - 公共工事における技術活用システムの構築、運用 -

国土交通省においては公共工事の品質の確保とあわせて、技術力に優れた企業が伸びる環境づくり、公共事業に関連した民間分野の新技术開発の取り組みの促進を図るため、技術の評価及び技術募集テーマ設定等について有識者から意見を戴くことを目的として新たに本省及び地方整備局に設置する第三者委員会を活用しつつ、技術の開発・導入に係る取り組みを総合的に実施することにより技術活用の一層の促進を図る「公共工事における技術活用システム」を構築し、平成13年度より運用を開始することとしました。

なお、公共工事における新技术の活用については、「発注者責任研究懇談会」において特許工法等の知的財産権の活用方策等について検討が進められるとともに、平成13年2月9日に決定した「建設産業の再編の促進について」においても、「技術と経営に優れた企業が生き残る環境整備」として、「入札・契約制度における技術力の重視、知的財産の活用方策」が緊急に実施すべき施策として位置づけられているところです。

問い合わせ先

国土交通省大臣官房技術調査課 課長補佐 佐々木 政彦（内線 22334）

技術開発官 鈴木 勝 （内線 22345）

国土交通省では、標準歩掛がないような技術を現場で活用することにより、技術の適用性の評価等を実施するとともに、その活用が促進されるための諸環境の整備を新技術情報提供システム（NETIS：New Technology Information System）を利用して行うシステム（新技術活用促進システム）を平成 10 年度から運用してきました。

平成 13 年度から、これを含む 3 つのシステム（技術指定システム、工事選定技術募集システム、テーマ選定技術募集システム）からなる「公共工事における技術活用システム」を新たに運用します（資料 - 1 ）。

「公共工事における技術活用システム」のポイント

（ 1 ）第三者委員会の設置

新たに構築するシステムにおける技術の評価及びテーマ・公募条件設定等について有識者から意見を戴き、公共事業における新技術の促進に資する第三者委員会を本省及び地方整備局に設置します。

（ 2 ）入札契約方式の活用

総合評価方式等の企業の技術提案を活用する入札契約方式、特許技術等に対する随意契約、特殊技術・先端技術等を対象とした技術コンペ方式（仮称）等、多様な入札契約方式の活用により、企業の有する技術を現場へ積極的に導入します。

（ 3 ）技術情報の一般への提供

国土交通省では、民間等で開発された技術を収集するシステム（NETIS）を省内向けに運用してきました。

平成 13 年 4 月 1 日より、この情報をインターネット（<http://www.kangi.ktr.mlit.go.jp/netis/netishome.asp>）により一般にも提供することにより、コンサルタントの設計及び施工業者の施工段階においても、新たな技術のより一層の盛り込みが可能となるような環境を整備します（資料 - 2 ）。

システムの概要

(1) 技術指定システム

従来の新技術活用促進システムに、第三者委員会(地方整備局) の活用及び技術情報の一般への提供を組み合わせ、新技術のより一層の活用促進を図るシステム。

(2) 工事選定技術募集システム

地方整備局が、民間の技術提案を活用する工事を一定数選定して、技術提案を受け付ける入札契約方式により企業を選定し、現場への技術導入を図るシステム。技術募集条件の設定、現場での施工後の評価は、第三者委員会(地方整備局) において行います。

(3) テーマ設定技術募集システム

第三者委員会(本省) において、社会ニーズ・行政ニーズ等より必要となる技術募集テーマを設定し、民間より技術提案を募集し、審査・選定を行うとともに、設定されたテーマに対応した現場を地方整備局であらかじめ用意することにより、選定された技術の現場での施工機会を確保するシステム。施工結果については、第三者委員会(本省) で評価することにより技術活用の促進を図ります。

今後の予定

(1) 工事指定システム

5月	第一回第三者委員会(地方整備局) 開催
8月～	工事契約
9月	第二回委員会(地方整備局) 開催

(2) 工事選定技術募集システム

5月	第一回第三者委員会(地方整備局) 開催
6月～8月	技術提案募集及び審査
9月	第二回委員会(地方整備局) 開催
1月	工事契約

(3) テーマ選定技術募集システム

- 5月 第一回第三者委員会（本省）開催
- 6月～8月 技術提案募集及び審査
- 9月 第二回第三者委員会（本省）開催
- 1月 工事契約